

会 議 録 (3)

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|---|
| 宇津木課長 | <p>皆様、こんにちは。ただいまから、令和元年度第4回高齢者福祉審議会を開催いたします。開会にあたりまして春名会長よりご挨拶を頂戴したいと思います。</p> |
| 春名会長 | <p>＜会長 あいさつ＞</p> |
| 宇津木課長 | <p>高齢者審議会第8条に会長が議長となると規定がありますので、春名会長に議長になっていただきまして会議の進行をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは議長を務めさせていただきます。</p> <p>会議がスムーズに進行できますよう委員の皆様にご協力のほどお願いします。現在の出席委員は13名出席でございます。小林委員、山崎委員は欠席の連絡を受けています。</p> <p>半数以上出席しているため、条例第8条の規定により会議は成立となります。</p> <p>会議の傍聴についてはホームページで周知したところ、1名の希望がありましたので報告いたします。</p> <p>次に会議録の署名の委員を指名させていただきます。</p> <p>今回は田中委員をお願いいたします。</p> <p>本日の議題は3点でございます</p> <p>1点目 敬老祝金支給事業の見直しについて</p> <p>2点目 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査について</p> <p>3点目 その他について、ご審議いただきます。</p> <p>事務局より説明をお願いします。</p> <p>初めに、「敬老祝金支給事業の見直しについて」を議題といたします。事務局に資料の説明を求めます。</p> |
| 富田主幹 | <p>〈 説明 〉</p> |
| 春名会長 | <p>ただいま事務局から「敬老祝金支給事業の見直しについて」の説明がありま</p> |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|--|
| | <p>したが、質問等がございましたらお願いいたします。</p> |
| 川名委員 | <p>88歳、99歳は残して、お金では無く品物等を渡したらいいと思います。また、敬老をお祝いするという事では、77歳は廃止しても良いと思います。</p> |
| 原田委員 | <p>今までありがとう、これからも頑張ってという考え方には賛成です。敬老会に77歳以上を招待しているが、「自分もまだ若い、頑張ろう」と一つの区切りになっていると思います。そういう意味では、77歳も残していいのかと思います。</p> |
| 松本委員 | <p>敬老祝金を受け取られた人にアンケート調査をしたことはありますか。</p> |
| 宇津木課長 | <p>今まで、敬老祝金対象者にアンケートを実施したことはございません。</p> |
| 法師副会長 | <p>私は、民生委員として担当地区の対象者祝金を渡していますが、77歳の方の半分は突然のことと驚かれ、半分は今年もらえると楽しみにしていました。</p> |
| 澤田委員 | <p>孫など身内からもらうお祝いと、行政からもらうお祝いの意味合いの違いがあるとおもいます。また、多くの方が77歳の元気な時にお祝いを受けるのはいいと思うし、敬意も伝わるのではないかと思います。</p> |
| 門原委員 | <p>敬老の日に敬老会を行っているが、100歳の人でもお祝いの趣旨は伝わると思います。また、敬老会に参加する人が少ない。その中にも77歳、88歳、99歳があまり参加していません。「敬老祝金支給事業」という名称。77歳は敬老に値するのでしょうか。</p> |
| 田中委員 | <p>例えば77歳は社協から、88歳は市からお祝いするというのはいかがでしょうか。自治会や施設で敬老会は行われているが、施設の77歳の方は多くの方が車いすを利用しています。元気なうちに何かを挙げたほうがいいのではないかと思います。</p> |
| 森本委員 | <p>事業の存続を考えると具体的な年齢、金額の案はあるのか？それを示してもらわないと、方向性を定める議論ができない。</p> |
| 春名会長 | <p>審議会では積極的な意見をいただき、議論をまとめることでお願いしたい。</p> |
| 川名委員 | <p>前は77歳を対象にしなくてもいいのではないかと考えていたと思うのですが。</p> |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|--------------|---|
| 原田委員 | <p>過去の審議会でも永続的などということで議論している。しかし、その時々議論でしかない。周りの自治体の変化で金額を減らしたりする議論はもうしたくない。喜寿、米寿、白寿のお祝いをずっと続けるという観点で、77歳に焦点が当たっているのではないか。対象者は全員が市民であるので若い時から入間市に住み、働き、生活をしている。その方への皆さんからの祝いであると思います。</p> |
| 澤田委員 | <p>80歳を超えると体に変化が現れる。77歳を迎えたら物品と感謝状などで、多くの方が一つの門をくぐるようにすれば良いと思います。</p> |
| 川名委員 | <p>77歳は一旦「お疲れさまでした」の意味合いで渡す。88歳、99歳は敬老として渡すのがいいと思います。</p> |
| 福島委員 | <p>全部の年齢を残し、全部の金額を下げるという考え方もあると思います。1回だけもらうとするならば、元気なうちの77歳でよいと思います。</p> |
| 田中委員 | <p>健康寿命は男72歳、女74歳といわれている。77歳は一つの区切りである。デイサービスの敬老会は90歳以上を対象にしている。1割程度いるが、ある程度元気であると思います。</p> |
| 松下委員 春名会長 | <p>77歳のわかるうちにお祝いの気持ちを表す。それ以外は敬意だと思います。商品券なども意見として挙がったが、自分の親が他市でもらったものが、きちんととってあります。</p> |
| 原田委員 | <p>77歳は祝ってほしいと思っているが、お金がほしいと思っているわけではないと思いますし、高齢化で77歳は元気である。お金ではなく物をあげるのでもいいと思います。</p> |
| 門原委員 | <p>77歳は例えば公民館に集まるなどで、0円でも何かができるのではないのか気持ちの問題だと思います。</p> |
| 法師副会長 | <p>77歳に感謝状を渡し、88歳、99歳はお茶にするのも良いと思いますし福祉のお金ではあるが、行政としての謝意・敬意であると私は思います。渡す方法として郵送が考えられるが、感謝状はそのままゴミ箱に。かといって感謝状のみを民生委員が持っていくにしても、ありがたみが減る。お茶に限らず、なに</p> |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|---|
| 木村委員 | <p>かとセットで感謝状をお渡しできればと考えます。</p> <p>感謝状は名前を書くのが大変である。簡単な手紙でいい。配りやすさを考えるとお茶がいいと考えます。敬意というのであれば、手紙の紙をコピー用紙ではなく、紙質をよくしてほしい</p> |
| 春名会長 | <p>意見が出揃いましたので、77歳はお茶と祝い状という結論にしたいと思います。それでは、88歳、99歳について引き続きご意見をお願いします。</p> |
| 川名委員 | <p>99歳は、100歳のお祝が市または、国から頂けるのでいらなないと思います。</p> |
| 原田委員 | <p>これから、の高齢者福祉の現状から見ると減額してもよいと思います。</p> <p>先を見越すと減額してもよいのでは</p> |
| 松下委員 | <p>予算がなく話し合っているので、このままではいけないと思うが10年後も永続的に続けてほしいと思います。</p> |
| 春名会長 | <p>今回の選択肢は「現状維持」、「減額」、「廃止」です</p> |
| 原田委員 | <p>88歳、99歳もお茶でいいと思います。心を伝えることが大事だと思いますし入間市に住んでいて、今後の子供たちにもつなげていけると思います。</p> |
| 春名会長 | <p>多数決により、「減額」が多数を占め、金額も「5千円、1万円」となった。</p> <p>ありがとうございました。以上で「敬老祝金支給事業の見直しについて」審議会の意見がまとまりました。事務局には、今日出た意見を十分に反映する形で答申案作成していただきますようお願いいたします。それでは、事務局には、今日出た意見も含めた答申案の作成をお願いいたします。</p> |
| 春名会長 | <p>次に議題2「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査について」を議題といたします。</p> |
| 春名会長 | <p>事務局に説明を求めます。</p> |
| 富田主幹 | <p style="text-align: center;">〈 説明 〉</p> |
| 春名会長 | <p>ありがとうございました。それでは、事務局の説明をいただきましたが、改めて何かご意見等はございますか。</p> |
| 春名会長 | <p>次に議題3「その他」を議題といたします。委員の皆様から何か議題はあり</p> |

